

よねざわ

第93号

発行／米沢市議会
米沢市金池5-2-25 ☎22-5111(代)
発行年月日／平成17・8・1

市議会だより



山形県指定天然記念物

山上の大クワ（S30・8・1指定）

この地（大字三沢）は以前、南置賜郡山上村であったことから、その地に生育するクワの大木ということで「山上の大クワ」と名づけられました。根まわり約5m、幹まわり約4m、樹高およそ10m、樹齢は300年を超えるものと推定され、県内最古のクワではないかと考えられます。

近年、樹皮や新芽を猿に食べられる被害が続いたため、電気ネットを樹の周囲に張りめぐらし、猿の被害を防いでいます。

平成17年6月定例会

	ページ
◆ 6月定例会の総括	2
◆ 一般質問	3
◆ 常任委員会の審査から	8
◆ 予算特別委員会の審査から	10
◆ 請願・スポット・あとがき	12

53議案 原案どおり可決



平成17年6月定例会は、10日から24日までの15日間の会期で開きました。

初日の本会議では、まず、全国市議会議長会から、国会対策委員会委員として感謝状を受けた1名の議員と、議員在職10年以上として一般表彰を受けた5名の議員の表彰状の伝達が行われました。その後、報告案件4件を了承し、人権擁護委員候補者の推薦と米沢市公平委員会委員の選任に同意した後、議案53件及び請願1件を各委員会にそれぞれ付託しました。

14日と15日には、8名の議員による一般質問が行われ、17日には総務・産業建設常任委員会を、また、20日には民生・文教常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願について審査を行いました。

21日には、予算特別委員会を開き、補正予算4件について、審査を行いました。

最終日の24日の本会議では、各委員長報告が行われ、議案53件についてはすべて原案のとおり可決し、請願1件については、採択されました。また、米沢市農業委員会委員の推薦について同意しました。

最後に、議員派遣について可決して、6月定例会を閉会しました。

一般質問

6月14日・15日

6月定例会では8名の議員が質問を行いました。ここでは、1時間の持ち時間から主なものを取り上げております。

詳しくは9月に会議録ができますので、情報公開コーナー（4階）、市立図書館、米沢市議会ホームページをご覧ください。

「市政のここが聞きたい」

少子化対策は子育て支援が第一！



吉田 芳一 議員

本市をつくる市長の決意と心構えは



佐藤 伊左エ門 議員

中学校の完全給食の実施については、学校給食検討委員会の報告書によると「小学校と同様に自校方式で2〜3年後に新たな検討委員会を立ち上げ進めるべき」とある。鹿児島県指宿市の給食センターでは、本市の中学校の給食分と同じ3千食を調理する施設で、自校方式では9校で29人の職員が、センター方式で19人となり、約3割の人員費削減がなされた。検討委員会では、自校方式を推奨しているが、コスト概念をどう考えているのか。また、報告書には「良質で安全な、ふれあいのある、手作りの給食ができる自校方式を維持することが望ましい」とあるが、センター方式を採用している県内の60%以上の中学校に問題はあまるのか。

さらに、検討委員会のメンバー構成は、9名中肝心の父兄は2名だったが、次の委員会には各中学校の父兄から1名は委員に選ぶべきだと考えるがどうか。

【市長】 中学校給食に関しては、給食を望む母親の声も多いため、さらに広く意見を伺います。

【教育長】 センター方式が良くないということではありません。それぞれの方式に長所短所がありますので、教育委員会としての方向性をまとめ、新たな意見を頂く場も考えます。

児童保育の充実として、施設の借り上げ料の補助は現在年間実費の33%もしくは最高額24万円である。これを改善するとあるが、いつからどんな改善がされるのか。また、委託料基準額は他市と比較してどうか。

【健康福祉部長】 施設の借り上げ料の助成は、平成17年度からその率が、年間実費の33%から45%に、上限額が24万円から30万円に上がります。また、本市の児童保育に対しての助成状況は、他市と比較して低い部分がありますので、今後研究検討いたします。

本市の次期総合計画が、向こう10年間の計画として平成18年度から始まる。本市の人口は、年々減少傾向にあり、あと2〜3年後には9万人を割ってしまう。財政も一段と厳しくなるという中で真剣なまちづくりが求められている。

「まちづくりは人づくり」といわれる。市民参画の協働のまちづくりに向かって、職員の政策形成能力と自治マネジメントを高めるための人材育成と先進都市に何を学び本市をどのようにつくっていくのか。市長の決意と心構えは。

【市長】 米沢市まちづくり総合計画は、従来の「第何次総合計画」というタイトルをつけませんでした。これは、継続よりもむしろ新たな気持ちと考え方で、市民参画という行政と市民の二人三脚の理念に立って10年間のまちづくりを進めていくという考えに基づくものです。まちづくりの先進事例を学ばす。

【総務部長】 職員の能力開発と能力向上については、長期的・総合的な視点で、職員の意識改革を通じて推進していきます。

産業廃棄物最終処分場の設置が問題となっているが、県内の約半分の処分場が本市に集中している。設置の許認可権は県にあるが、本市にこれ以上の処分場を一定期間、設置しないためには、どうすればよいのか。

【市民環境部長】 平成10年の新規の処分場設置許可申請の際、県から意見書を求められ、本市として地域間の適正配置を強く要望しており、平成14年の県の計画では、処分場が多く設置されている置賜地域は、当分の間立地抑制の指導を行うとしております。

市長は、給食現場の職員に

「政策」 提言を求めるべき

高橋 壽 議員



米沢市学校給食検討委員会での検討と、その報告書を受けて現在教育委員会が今後の本市の小学校給食のあり方と中学校給食が必要かどうかについてさらに検討し、方針を出すことになっている。しかし、学校給食検討委員会そのものに問題があったと考える。

その問題点としては、①市民の幅広い、しかも開かれた議論でなかったという致命的な欠陥②子ども達や学校現場、給食現場の実態を十分精査した検討ではなかった点、③教育委員会提出の参考資料は、コスト計算という点では大変大ざっぱなものだった点、④学校給食の現状にとどまらず、将来展望も踏まえ、議論が少な過ぎた点などである。

それらを踏まえ、現時点で何をすべきかということだが、第一に市長は、調理師、学校栄養士、学校給食主任の先生など給食現場の職員に対し、自治体職

員の専門性を発揮させるということからも、中学校給食の是非の問題も含めた「米沢市の学校給食についての政策」を提言するよう求めるべきであり、第二に教育委員会は、検討委員会の報告書だけではなく、この「政策」も踏まえた上で、今後の給食の方針を打ち出すべきだと考えるがどうか。

【教育長】学校給食の今後のあり方については、検討委員会からの報告書を尊重しながら、教育委員会として継続して様々な観点から検討を進めているところです。

ご指摘のありました学校給食に直接従事する現場の職員の方々の意見や提言ということも当然、検討を進める中で加えていかなければならないと考えています。



景観緑三法を有効に活用し、景観形成を

はかつてはどうか

我妻 徳雄 議員



本市において、個々の建物の景観はすぐれたものであっても、周辺景観や地区のイメージにそぐわないものがあり、町並みとしての美しさを感じられない。景観緑三法※を有効に活用し、上杉の歴史を生かした景観形成が必要ではないか。

【市長】景観はみんなのためのものであって、みんなが気持ちよく暮らすためのものであると思います。本市は景観の面からは脱城下町という方向で走ってきた嫌いがあります。どういものが城下町らしい風情なのかを、市民の皆さんと考え、ほつとする景観づくりを目指します。

【建設部長】景観形成については、景観法等を活用し市民一人一人が基準を遵守することで、将来に向けて誇りの持てる景観が形成されていくものと認識しています。今後、景観協議会を立ち上げ、景観について住民の皆さんと相談してまいりたいと考えております。

三位一体改革が進められる中で、補助金削減と地方交付税の圧縮などによって、本市も、非常に厳しい財政状況にある。そこで、従来の補助金に頼らない、住民参加型の公共事業を進めてはどうか。また、市から建設資材を支給し、労働力を地域が担い、道路改良や舗装、側溝整備等の公共事業を地域へ発注する「建設資材支援事業」の制度を設けてはどうか。

【建設部長】建設資材を支給して労働力を地域が担い、公共事業を発注することについては、検討してまいります。

建設資材提供については、現在でも地域からの要請があれば、市で保有している発生材の中で規格に合うものがあれば提供しています。今後、新品材料を提供していくことも検討してまいります。

※「景観法」：「景観法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」：「都市緑地保全法等の一部を改正する法律」の三法をいう。



▼4月▲

4日 各派代表者会
7日 第113回山形県市議会
議長会定期総会

11日 議会だより編集委員会
13日 各派代表者会

14日 第57回東北市議会議長会
定期総会

15日 議会だより編集委員会
20日 各派代表者会

25日 議会運営委員会
28日 各派代表者会

世話人会

▼5月▲

2日 各派代表者会

9日 世話人会

11日 世話人会

12日 各派代表者会

市政協議会

16日 議会運営委員会

19日 5月臨時会

20日 議会だより編集委員会

27日 各派代表者会

議会運営委員会

30日 都城市議会から視察

▼6月▲

1日 民生常任委員会

文教常任委員会

住みよいまちづくりのための

整備促進について



加藤 喜工門 議員

都市周辺地域の開発の進展に伴い、市街地及び下流域地域が洪水により甚大な被害が発生している。都市排水整備計画についての考えは。

〔建設部長〕 本市の都市基盤整備施設の下水道事業は、汚水処理と浸水被害の防止を図るため、雨水を分流しての排水計画であり、雨水幹線は計画を策定しているものの、汚水処理施設の整備が一定程度終わった段階で進めたいと考えております。また、都市化による下流域の溢水対策は、都市計画道路整備と一体事業として一部実施しています。が、現況を踏まえて、雨水排水整備計画を策定する必要があり、今後更に検討します。

に新規の許可水利権を取得するのは困難な状況であり、今後とも農業用水管理者等関係機関との協議を重ね用水確保に努力します。流雪溝整備事業構想は、西部地区で基本計画を策定して進めています。整備率7〜8割に達した段階で次の地区の基本計画を策定したいです。

市民から信頼を得られる公共事業の促進と建設事業の健全な発展を図るため、抜本的な制度改革により、最も先進的で公明な入札制度の構築が望まれる。電子入札、条件付一般競争入札の導入を考えるべきではないか。

〔市長〕 入札契約適正化法施行以前からさまざまな取組みをしてきましたが、今日の鋼鉄製橋梁入札談合事件等、入札をめぐる不祥事が後を絶たないことから、今後とも種々の角度から入札制度改革が必要だと考えています。

克雪対策として今後は消流雪溝整備に真剣に取り組むべきと考える。都市用水確保と消流雪用水導入事業の計画及び水利権調整等関係機関との調整経過は。

〔建設部長〕

維持用水の確保等

ノーマライゼーションの現況は



佐藤 毛 議員

本市の農業予算は微々たるものである。その中で本市の農業行政をどう位置づけし、どう発展させていくつもりなのか。

〔市長〕 国の農業政策の流れに反しても、自治体自ら独自の農業政策を立てて農業の振興を図っていくわけにはいかないと思っています。確かに予算総枠に対する割合は低いわけですが、政策がでてくるにつれて予算は増えていくものと考えています。

思いやりや共感を示さない子供が多くみられ、自制心のない青少年が命を軽く扱う事件が多発している。人を愛せる情愛のある人格に子供達を育てなければならぬ。その一要因として動物にふれるという体験が重要である。子供達が動物に直接ふれあえるコーナーが人気を集め、実体験を通して命の大切さを知ってもらおう目的で全国各地にふれあい動物園が設置されている。市長もマニフェストの中で

これを開設したいと言っているがどう考えているのか。

〔市長〕 動物とのふれあいで命の大切さを知る事は大事です。平成18年には開設したいと考えております。

障害者やお年寄りの方が自立して安全にかつ快適な生活を送れるよう、公共施設や歩道をバリアフリー化するなど本市のノーマライゼーション(※)施策をより推進すべきと思うがどうか。

〔健康福祉部長〕 本市の公共施設においては障害者等に配慮した自動ドアやスロープ、身障者用トイレの設置が進んでいるところ。です。

〔建設部長〕 ノーマライゼーションを推進するため、配慮されていない施設については、利用頻度・必要性を考慮しながら逐次整備してまいります。

※障害を持つ人も持たない人も同じ社会の構成メンバーであり、地域社会のなかで共に生活することが、ごく普通であるという理念

2日	総務常任委員会
3日	産業建設常任委員会 各派代表者会
7日	市政協議会 各派代表者会
8日	議会運営委員会 各派代表者会
10日	本会議(招集日)
14日	議会運営委員会 本会議(一般質問)
15日	本会議(一般質問)
17日	総務常任委員会 産業建設常任委員会
20日	民生常任委員会 文教常任委員会
21日	予算特別委員会 議会運営委員会
22日	議会図書室運営委員会 議会だより編集委員会
24日	本会議(最終日) 各派代表者会
28日	浜田市議会から視察 稲沢市議会から視察
30日	小牧市議会から視察



明らかになった課題を解決するような

介護保険の見直しを

白根澤 澄子 議員



平成12年に介護保険制度が開始されてから5年がたち、制度全般の見直しが行われているが、介護費用の抑制や利用者の負担増ではなく、5年間で明らかになった課題を解決するものでなければならぬ。この間、施設志向の高まりにより、入所待機者が増加し、新たな施設建設が必要となるが、むしろ、利用料を軽減するなどにより在宅で暮らせる条件を整えていくことが大切ではないか。

〔健康福祉部長〕 本市の居宅サービス利用者の支給限度基準額に対する利用割合は、近年30%台から45%程度まで伸びてきております。一方、市や県のサービス未利用者のアンケート調査では、利用料負担を理由としたサービスの未利用の方は必ずしも多くはなく、利用料の負担によって居宅サービスが抑制されている現状にはないと考えております。

入院中の精神障害者で、退院が可能なのに条件が整わないために入院を余儀なくされているいわゆる「社会的入院」になっている方は、米沢市立病院にどの程度おられるのか。また「社会的入院」を解消し、地域で生活できるようにしていくための生活、就労支援強化策は。

〔市立病院事務局長〕 米沢市立病院の精神病床の入院患者は、平成17年6月1日現在62人で、そのうち退院できる状況にある方は6人おられます。

〔健康福祉部長〕 厚生労働省が新障害者プランで示している今後10年間の約7万2千人の退院及び社会復帰を実現するためには、社会復帰施設をはじめ相当数の受け皿が必要になると思われる。本市においては、既存の社会資源の充実活用を図るとともに障害種別を超えた社会資源の利活用などについても検討してまいります。

市民憲章にうたわれている教養を

高めるために何をするか

木村 政信 議員



今の日本の社会の現状には、目を背けたくなるほどである。社会に抑止力があるうち、人を育てる力のあるうちは良いが、それらはほとんど機能していない。事故等が起こっても根本に手を掛けないため、どんなに罰を重くしても、類似の事象事件が後を絶たない。

もう、点では捕えられない。社会全体の底上げをして行かなければ、日本は全く異質の国になってしまふ。

教養とは、心豊かな、人間としての素養である。市民憲章にうたう通り、それを高める事が、米沢を発信基地として日本を救う道である。

今いる私達には何百万という祖先の命と、その歴史が引き継がれている。さらに、未来も千世万世の来世に至る。

その人間の素養を深め、教養を高めるのに、古典と歴史に勝るものはないと思う。しかも、

保育園や幼稚園の段階から読み聞かせすれば、大人は変わなくても、子供は間違いなく変わる。それが家庭、学校、地域と波及すれば、米沢が発信基地となって日本が変わることも夢ではない。

提言をし、そして、市として、何をするか聞きたい。

〔市長〕 教養を高めるには、全ての事に対して深く学んでいく態度が必要だと考えます。

教養をたかめ、
文化のまちを
つくりましょう。

表彰

全国市議会議長会から、次の方々が表彰されました。

●感謝状

(国会対策委員として)
五十嵐謙一 議員

●一般表彰状

(議員在職10年以上)

高橋 嘉門 議員
木村 政信 議員
小竹 博男 議員
小島 卓二 議員
佐藤 忠次 議員



表彰状の伝達式

6月定例会で次のことが決まりました

- 平成16年度米沢市一般会計継続費繰越計算書の報告について
- 平成16年度米沢市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 米沢市土地開発公社の平成16年度経営状況及び平成17年度事業計画の報告について
- 財団法人米沢上杉文化振興財団の平成16年度経営状況及び平成17年度事業計画の報告について
- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 米沢市公平委員会委員の選任につき、その同意を求めるについて
- 米沢市まちづくり総合計画基本構想について
- 米沢市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について
- 米沢市市税条例の一部改正について
- 米沢市市税条例の一部改正について
- 米沢市地方拠点都市地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正について
- 米沢市火災予防条例の一部改正について
- 米沢市市民バスの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市交通安全条例の一部改正について
- 米沢市斎場の設置等に関する条例の一部改正について
- 米沢市環境審議会条例の一部改正について
- 米沢駅前駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市市営駐車場事業の設置等に関する条例の一部改正について
- 米沢市ペット霊園の設置の基準等に関する条例の設定について
- 米沢市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市児童福祉施設設置条例の一部改正について
- 米沢市立ひまわり学園の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市休日急病診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市松が岬おまつり広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市上杉記念館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市置賜広域観光案内センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市地域資源活用センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市勤労者福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市市営と畜場の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市大森山森林公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市採草地の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市林業センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市木材工芸品等加工展示施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市森林体験交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市放牧場設置等に関する条例の一部改正について
- 米沢市山村広場施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市市営食肉市場条例の一部改正について
- 米沢市農村広場施設の設置及び管理に関する条例の廃止について
- 米沢市運動広場施設の設置及び管理に関する条例の廃止について
- 米沢市基幹集落センターの設置及び管理に関する条例の廃止について
- 米沢市多目的集会施設の設置及び管理に関する条例の廃止について
- 米沢市農村集落多目的共同利用施設の設置及び管理に関する条例の廃止について
- 米沢市普通共用林野の運営に関する条例の廃止について
- 米沢市普通共用林野の運営に関する条例の廃止について
- 米沢市市道路線の廃止について
- 米沢市市道路線の認定について
- 米沢市克雪プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市市民館の設置及び管理に関する条例の一部改正等について
- 米沢市昆虫館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市市民文化会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市座の文化伝承館の設置及び管理に関する
- 米沢市市民ギャラリーの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市博物館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市都市公園条例の一部改正について
- 米沢市寄宿舎の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 平成17年度米沢市一般会計補正予算(第1号)
- 平成17年度米沢市老人保健医療費特別会計補正予算(第1号)
- 平成17年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計補正予算(第1号)
- 平成17年度米沢市下水道事業費特別会計補正予算(第1号)

以上の議案は、すべて承認、同意、原案どおり議決しました。

(◆・▲は、民生・産業建設常任委員会にそれぞれ付託された、指定管理者関係の議案です。)

常任委員会の審査から

6月17・20日に開かれた常任委員会から、
質疑の主なものをお知らせします。

総務

▼米沢市まちづくり総合計画基本構想について

本案は、本市の目指すべき将来像を「豊かさ」とやすらぎ共に創りあげるときめきの米沢」とし、各分野における基本目標と施策の大綱を示す向こう10年間にわたる基本構想を定めようとするものです。

〔委員〕構想で指標とする、人口9万3千人を確保するため、市が中心に据え、強調し進めるまちづくりは、

〔企画調整部長〕 目標人口の確保を図るためには、様々な施策が必要となるが、中でも産業振興や少子化対策が重要であると考えており、産業の活性化は税収の増加と雇用の拡大に結びつくことから、産業の栄えるまちづくりを進めるとともに、少子化対策として、子育て支援はもちろんのこと出産等により一時離職した女性が社会復帰できるシステムや環境づくりなど、雇用の問題を大きな視点として捉え、まちづくりを進めてまいります。

〔委員〕自治体経営の改革として、市は行財政改革についてどのように進めるのか。

〔企画調整部長〕 基本的な考え

としては、総務省が示す、定員管理など目標数値が求められているもののほか、事務事業の見直し、手当の総点検、さらにアウトソーシング（業務の外部委託）や指定管理者制度の導入などを中心として進めるほか、市独自の考えを加えて策定し、行財政改革を進めてまいりたい。

▼米沢市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について

本案は、高齢者等肉用牛飼育事業基金がその所期の目的を達成したこと、同基金を廃止しようとするものです。

〔委員〕具体的な基金廃止の理由は、

〔財政課長〕 近年、基金活用が進まなかったことや、貸付けによる繁殖実績などから、制度的に同等で資金に余裕のある優良肉用雌牛導入事業基金に一本化し、効率的な執行を図るため廃止するものです。

民生

▼米沢市交通安全条例の一部改正について及び米沢市環境審議会条例の一部改正について

両案は、市長の附属機関である交通安全対策会議及び環境審

議会の委員の一部をそれぞれ公募し、その応募者のうちから委嘱することができるようにしようとするものです。

〔委員〕両審議会の今年度の活動予定は、

〔環境生活課長〕 交通安全対策会議については、平成17年度が、次期5か年の第8次交通安全計画の策定時期にあたり、その審議を行う予定であり、環境審議会は、平成17年度中に地球温暖化対策実行計画を策定する予定です。

▼米沢市ペット霊園の設置の基準等に関する条例の設定について

本案は、近年のペットブームにより需要の増加が見込まれるペット霊園が、本市の区域内において公衆衛生その他公共の福祉の見地から支障なく設置されるための基準の設定その他必要な措置を講じ、市民の生活環境の保全に資するよう条例を設定しようとするものです。

〔委員〕条例案の経過措置に「現にペット霊園を設置している者は、第3条の規定による許可を受けたものとみなす。」とあるが許可を受けたとみなされた者は条例案第6条に定める設置基準の指導を受けるのか。

〔環境生活課長〕 現にペット霊

市議会のホームページ

会議録、市議会の概要、市議会だよりなどを紹介しています。
アドレスは次のとおりですのでぜひご覧ください。

▼アドレス

<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/gikai/gikaihome.html>

くわしくは議会事務局へお問い合わせください。

Tel22-5111 (5623・5624)

園を設置している者は、距離の基準を改めることはできませんが、そのほかの内容については基準を満たすようお願いすることになります。

▼米沢市市民バスの設置及び管理に関する条例の一部改正について、米沢市斎場の設置等に関する条例の一部改正について、米沢駅前駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正についてから米沢市市営駐車場事業の設置等に関する条例の一部改正

産業建設

についてまで、米沢市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正についてから米沢市立ひまわり学園の設置及び管理に関する条例の一部改正についてまでの8案件について（7P ◆参照）

これらの案は、本市の公の施設の管理について指定管理者制度を導入する場合に、指定管理者に行わせる業務の範囲その他必要な事項を、各施設ごとに規定しようとするものです。

【委員】指定管理者制度をとる施設の指定管理者の選定にあたっては、公募制をとるか、公募せずに選定するかを、どう選択するのか。

【市民環境部長】現在管理運営を委託している施設がたくさんありますが、委託の関係を尊重した上で、施設の設置目的、性格等に照らして、今後その選定方法を検討することになります。

【委員】いったん指定管理者が指定された後に、別の者が指定管理者となる機会は。

【健康福祉部長】指定管理者の指定の期間は、公募の場合5年、公募によらず選定した場合に3年を、ひとつの基準として想定しており、期間満了の時期に、改めて選定することとなり、別の者が指定管理者となることもあり得ます。

▼米沢市松が岬おまつり広場の設置及び管理に関する条例の一部改正についてから米沢市農村集落多目的共同利用施設の設置及び管理に関する条例の廃止についての19案件について（7P ◆参照）

これらの案は、本市の公の施設の管理について指定管理者制度を導入する場合に、指定管理者に行わせる業務の範囲、その他必要な事項を各施設ごとに規定しようとするものであり、また、上山山村広場施設、農村広場施設及び上郷運動広場施設をそれぞれの地域のコミュニティセンターの附属施設とするほか、山上基幹集落センター、愛宕多目的センター及び関多目的集会施設を廃止することにより、本市が有する当該施設を社会教育関連施設として整理を図ろうとするものであります。

【委員】大森山森林公園内の遊具が破損している状況が見受けられるがその対応について。

また、種々の施設が指定管理者制度に移行した場合でも施設や遊具等の保守点検や安全面での管理については、同様な管理がなされるのか。

【農林課長】大森山森林公園内



補修後の大森山森林公園の遊具

の遊具については早急に修繕をしたいと考えております。
また、施設及び付属物等の維持補修については、指定管理者制度に移行した場合でも管理等に関する業務委託の内容については従前と変更はないため、管理については従来と同様であります。

文教

▼米沢市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正等について

本案は、中央公民館を除く地区公民館及びふれあいプラザをコミュニティセンターに変更するとともに、それらの施設の管理を指定管理者に行わせることができるようにしようとするものであります。

【委員】本市におけるコミュニティセンターの位置づけと役割

は、どのように考えているか。

【社会教育課長】今後ともこれまで同様、公民館の役割を持った生涯学習施設として位置づけていますが、社会教育法の制限がなくなつて貸し出しがゆるやかになり、利用の幅が広がると見込まれます。また、地域コミュニティの最大の拠点施設であることから、事業内容を条例にのりこみ、社会教育事業に力を入れていく考えです。

【委員】中央公民館のみが名称を変えない理由と今後の方向性はどうなのか。

【社会教育課長】建物建設の際の補助金の関係から、社会教育法に基づく公民館という名称を使用しているところです。今後、地域の施設が指定管理者による管理になった場合にも、協定の中で社会教育のさらなる発展が図られる様、密接な連携をとってまいります。



名称がかわるふれあいプラザ

平成16年 議会開催状況

区分	会期日数	本会議日数	傍聴者
3月定例会	23日	5日	76人
6月定例会	14日	4日	87人
9月定例会	22日	4日	84人
12月定例会	12日	4日	208人
定例会計	71日	17日	455人
臨時会（2回）	2日	2日	6人
計	73日	19日	461人

※傍聴者数は、報道機関を除く一般傍聴者数のみ

予算特別委員会

平成17年度補正予算

4 議案を審査

一般会計

特別会計

6月21日に開催された予算特別委員会では、一般会計補正予算をはじめ4議案を審査しました。
その中から質疑の主なものをお知らせします。

余熱利用施設の

建設を休止しては

〔委員〕高島町に建設が予定されている余熱利用施設については、現在、計画の再検討がなされているが、地方自治体の財政は非常に厳しい状況にあることから、置賜広域行政事務組合理事會において、一定期間、建設を休止することについて協議してはどうか。

〔市長〕余熱利用施設を建設することは、千代田クリーンセンターを建設する時の地元地権者等との約束事であります。現在、高島町において再検討していただいておりますが、地元地権者等で組織する環境対策協議会の方々とその他の高島町民双方が納得でき、しかも、建設経費やランニングコストが極力少ない施設となるよう検討されているものと理解しております。

広告塔の

書き換えは

〔委員〕市役所敷地内西角に建っている広告塔の「平和都市

宣言 米沢」などの文字が大分色あせ見苦しくなっているが、書き換える予定は無いのか。

〔財政課長〕本年度予算に書き換えの予算を計上しておりますので、今後実施してまいります。

〔委員〕ペット霊園の設置の基準等に関する条例の設定が提案されており、条例が施行されれば、新規に建設される施設については適切に管理されるものと思うが、既設のペット霊園からの臭気により近隣の居住環境に悪影響を及ぼしている場合が見受けられる。

最近の悪臭発生の状況と指導体制について伺いたい。

〔環境生活課長〕

近年、苦情は受けておりませんが、最近1件寄せられました。苦情があった場合は、即座に出向き、調査確認のうえ改善指導してまいります。

また、既設の施設についても、距離以外は条例に規定した設置基準に適合する

ものとなるように、極力、指導してまいります。

米沢牛を低廉な

価格で供給を

〔委員〕市内で米沢牛を食べたり、買ったりしても相当高額であるが、それでも客で賑わっている。飼育頭数を増やし、低廉な価格で供給することができれば販路が拡大して本市経済の活性化につながると思うが、その施策の実施方についてどう考えるか。



〔産業部長〕

米沢牛のブランドが高まり、需給のバランスの関係で高値になっているのではないかと思います。低廉な価格で提供することは本市経済の振興上、大きな課題ですが、一方、生産者は高値での販売を望んでいることでもあり、どのような方策を採れば良いか、今後研究してまいりたいと思います。

〔委員〕 国指定文化財の普門院と羽黒神社が今冬の雪により再び被害を受けたと聞いている。

今年は「上杉鷹山記念全国まわづくりシンポジウム」の開催が予定されており、全国から多くの方々が訪れると思われるが、修復計画の予定はたっているのか。

〔文化課長〕

現在実施している上杉御廟所の修復が終了次第、敬師郊迎跡の修復に取り掛かることができるよう、文化庁に働きかけております。

古紙回収の

回収方法の変更は

〔委員〕 分別資源物の古紙のうち、新聞紙、雑誌、本、ダンボール以外のボール紙などについて

紐でしばって集積所に出すことになっているが、大きさがバラバラでありなかなか難しい。山形市で行っているように紙袋に入れて出すようにすれば回収率が良くなることも、可燃性ゴミとして出す量が減少することから、千代田クリーンセンターでの焼却費の削減にもつながるので、紙袋に入れて出す方法の実施方について検討して欲しい。

〔環境生活課長〕

どのような回収方法が良いか、今後研究させていただきます。



〔委員〕 本年度から、分別資源物の売り払いは見直しを

行われているが、古紙の収集状態が劣悪であり、新聞紙類、ダンボール、その他のボール紙などに分別されておらず、混在した状態で買い取り業者に引き渡されている。

見直し合わせを行う際の説明会ではどのような説明をしたのか。今後の契約に際してはこれまでの収集状況を踏まえて対応

すべきと思うがどうか。

また、家庭にはプラスチック製品があふれているが、資源物としての分別収集をより進めるとともに、可燃性ゴミの量を減らすことにより千代田クリーンセンターの焼却炉の延命にもつながることから、ペットボトル・プラスチック製容器包装用ゴミ袋の値段を無料または安価にすべきと思うがどうか。

〔市民環境部長〕

見直し合わせを行う際の説明会では、昨年度の実績を説明しております。古紙については各ゴミステーションから収集したままの状態のものを売買するというところで、さらには市民への啓発に努め、分別の徹底を図ってまいります。

〔委員〕

製容器包装用ゴミ袋の値下げ等については、置賜広域行政事務組合の中で検討させていただきます。



愛宕の火祭りに

児童の参加は

〔委員〕

8月1日の愛宕の火祭りには愛宕小学校の児童が大勢参加してきており、文化の伝承地域づくりの観点からも素晴らしい行事であると思っている。しかし、平成17年から学校行事としては行わないで、町内の行事として参加するという事になったが、そのようなことでは先生や児童の祭りへの参加状況の把握も出来なくなり、学校と地域の連携がなくなるのではないかと、教育次長、大人と子供が一緒になって祭りに参加し、それを継続していくという事は地域づくりの観点からも素晴らしい教育効果があると思っています。

愛宕小学校ではPTA活動として7年間参加してきましたが、PTAの他の行事との重複や地区単位での参加が既に見られることから、平成17年からは子供会や育成会にゆだねて参加することにしましたということです。学校からも、このような行事へは積極的に参加するよう、育成会や子供会へ働きかけていただければありがたいと考えています。



平成16年の愛宕の火祭り



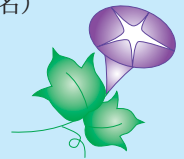
6月定例会で審議した請願の結果は次のとおりです。

採 択

◆一般廃棄物収集運搬業許可を求める請願

(米沢市窪田町小瀬486-25

柴田 久司外6名)



スポット

プチ・アート - アセンブリ

— 議会の小さな美術館 —



ハリスコの浜 遠藤桑珠

平成16年9月から「プチアート アセンブリ」と題して、本市所有の遠藤桑珠の風景画と桜井祐一のブロンズ作品（合計6点）を議会の委員会室前に展示しております。

6月22日に作品の配置換えがあり、遠藤桑珠の風景画3点が新しくなりました。どなたでもご覧いただけますので、役所にお越しの際は、議会棟にもお立ち寄りください。

あとがき

今冬は、例年になく大雪でした。また、6月は空梅雨で、真夏日が9日間も続きました。地球温暖化の影響でしょうか。

市議会議員は、市民の方々の代弁者であり、市政のチェックマンでもあります。いろいろな機会に市民の方々へ市政の状況を報告する義務もあると思います。しかし、なかなか思うようにいきません。

そこで、この議会報がその一端を代行できればと、「読みやすく」「わかりやすい」編集をして、市民の方々にお渡ししたいと思っています。

(H・S)

おわび申し上げます

前号に誤りがありましたので、次のように訂正させていただきます。

表紙写真の説明で

市の花「あずましゃくなげ」→
「はくさんしゃくなげ」